

No. 1 4 9 3

2021年10月28日

古河電気工業株式会社

古河 AS 株式会社

トヨタ紡織製 自動車シート用ワイヤハーネスにアルミ電線を採用

～ アルミ電線化で質量を 44%削減し、自動車の軽量化・環境性能向上に貢献～

- ・ 新型ランドクルーザー300 に搭載されるトヨタ紡織製の自動車シート用 W/H にアルミ電線が採用
- ・ 優れた防食性能を有する「α端子シリーズ」を用い、自動車シート用 W/H として初めてアルミ電線を搭載
- ・ 152 回路中 115 回路のアルミ電線化により質量を 44%削減し、自動車の環境性能向上に貢献

古河電工グループの古河 AS 株式会社（本社：滋賀県犬上郡、代表取締役社長：阿部茂信）は、優れた防食性能を有する防食端子「α端子シリーズ」を用い、自動車シート用ワイヤハーネス（以下 W/H）として初めてアルミ電線を搭載し、トヨタ紡織製の自動車シートに採用されました。

■ 背景

近年、自動車の機能が増加したことに伴い車両の軽量化が要求される背景として、当社は車両のボディやフロア等に組付けられる W/H のアルミ電線化を推進しています。その中で自動車シートにおいても、多くの機能追加により回路数が増大する W/H の軽量化に向けてアルミ電線化の開発を進めてきました。

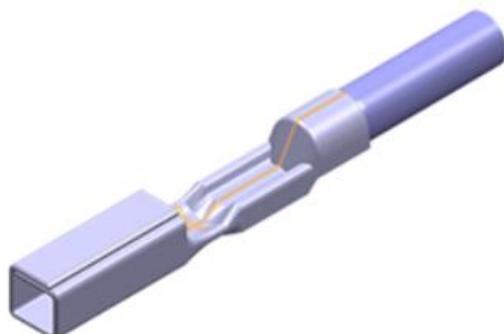
■ 内容

このたび、本年 8 月発売の新型ランドクルーザー300 に搭載されるトヨタ紡織製シートに、当社製「α端子シリーズ」を用いたアルミ電線化 W/H が採用されました。同車のシート用 W/H の 152 回路中 115 回路をアルミ電線化し（アルミ電線率 75%）、質量を 44%削減しています。また、新型ランドクルーザー300 では車両のボディやフロア等の W/H においても、従来よりも高いアルミ電線率の W/H が採用されています。

アルミ電線化は、アルミ電線と端子（銅合金）の異種金属間で良好な電気接続を確保するために、被水の可能性がある回路全ての端子接続部分へ腐食対策が必要です。特に使用環境が厳しいシートにおいては、シートクリーナーや消臭剤・除菌剤等の溶液付着も想定し、より高い防食性能が求められます。古河 AS は耐溶液性も含め優れた防食性能を有する「α端子シリーズ」をアルミ電線化する全ての回路に適用することで、自動車シート用 W/H のアルミ電線化を初めて実現しました。

今後、自動車シート用 W/H のアルミ電線化を加速し、車両の軽量化と環境性能向上に貢献していきます。

<防食端子「α端子シリーズ」イメージ>



アルミ電線用紡織端子「α端子」製品情報

<https://www.furukawaas.co.jp/wp-content/themes/furukawa/shared/pdf/aluminumwiringharnesses.pdf>

■ 古河電工グループの SDGs への取り組み

当社グループは、国連で採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」を念頭に置き、2030年をターゲットとした「古河電工グループ ビジョン 2030」を策定して、「地球環境を守り、安全・安心・快適な生活を実現するため、情報/エネルギー/モビリティが融合した社会基盤を創る。」に向けた取り組みを進めています。ビジョン 2030 の達成に向けて、中長期的な企業価値向上を目指す ESG 経営を Open, Agile, Innovative に推進し、SDGs の達成に貢献します。



古河電工グループの SDGs への取り組み

<https://furukawaelectric.disclosure.site/ja/themes/182>

■ お問い合わせ先

古河電気工業株式会社

広報部 村越

E-MAIL : fec.pub@furukawaelectric.com

以 上